

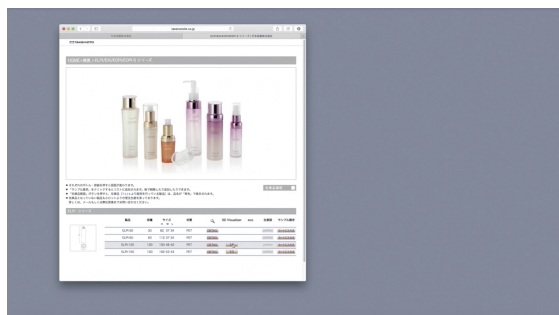
TAKEMOTO 3D VISUALIZER SYSTEM デザインアップロード



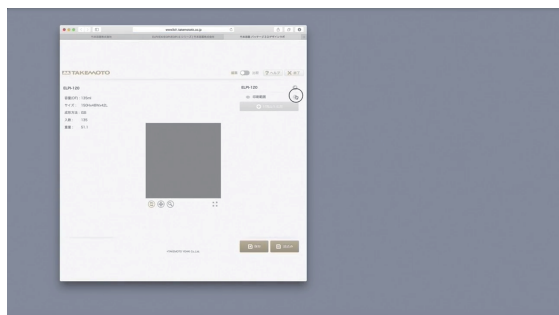
STEP 1

デザインテンプレートのダウンロード

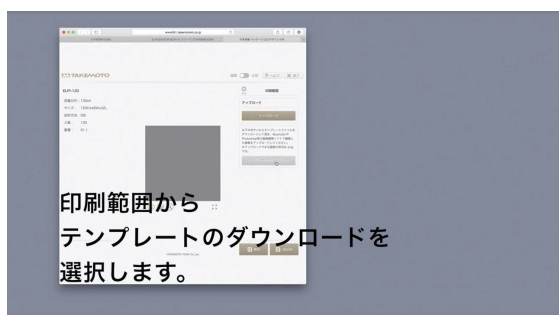
ボトルにデザインをのせる為に必要な、テンプレートファイルをダウンロードします。



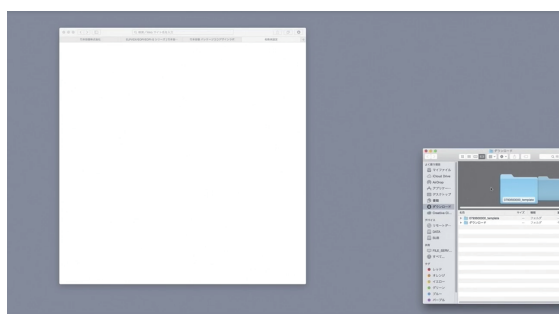
3D ビジュアライザーで使用するボトルを、製品ホームページから選択します。



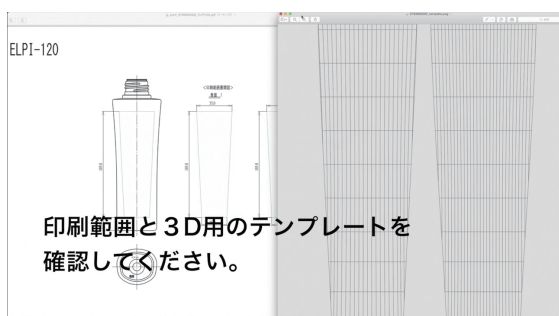
右上の製品名下の「印刷範囲」横のアイコンをクリックします。



印刷範囲のウインドウの下にある「テンプレートをダウンロード」をクリック。

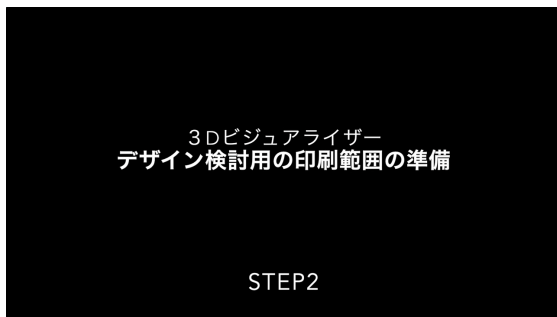


ダウンロードフォルダを開き、製品の印刷範囲の PDF ファイルと、3D ビジュアライザーで使用するテンプレートの PNG ファイルもご確認ください。



※ダウンロードされたフォルダ内にある「お読み下さい」のテキストファイルにも詳しい説明が記載されているので、あわせて内容をご確認ください。

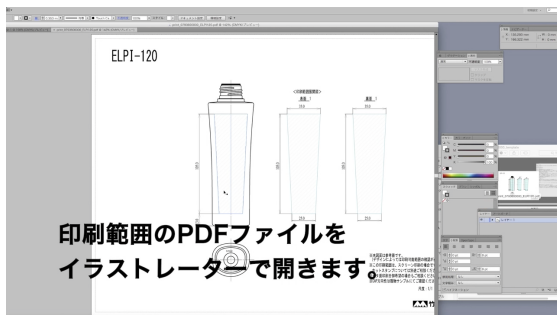
TAKEMOTO 3D VISUALIZER SYSTEM デザインアップロード



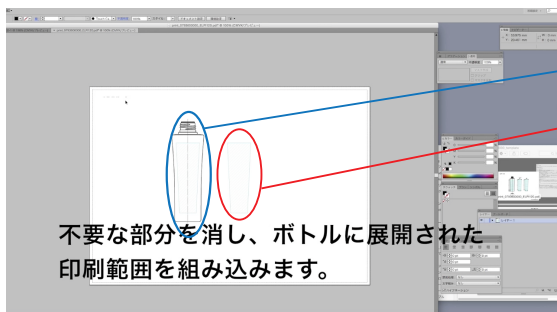
STEP2

デザイン検討用の印刷範囲の準備

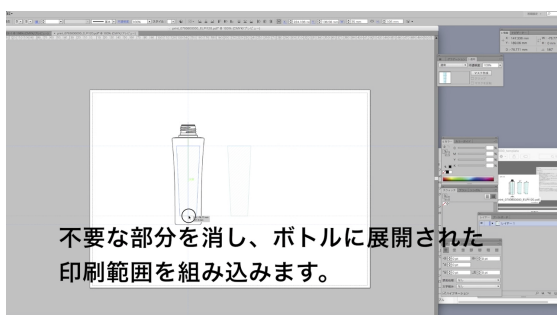
ダウンロードしたファイルを元にデザインを作成する前に下準備を行います。



ダウンロードした製品の印刷範囲のPDF ファイルをイラストレータで開きます。



「ボトル外形」と、その横にある斜線表現の「展開された印刷範囲」を残し、不要な部分のデータを削除します。



ボトル外形上に、展開された印刷範囲をセンター位置に合わせ、重ねて組み込みます。

※ボトル外形に描かれている印刷範囲と展開された印刷範囲は形状が異なる場合があります。(注1)
展開された印刷範囲の底辺とセンター位置の交点、ボトルに描かれている印刷範囲の底辺とセンター位置の交点を重ねる作業が必要となります。

(注1)

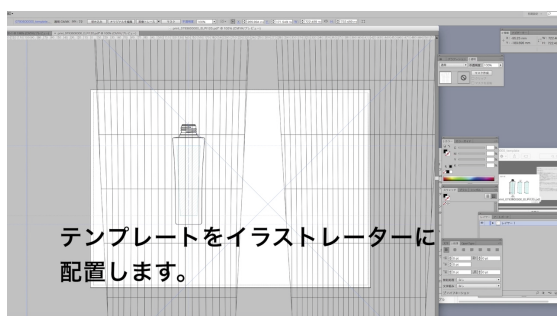
ボトル外形に描かれている印刷範囲は、ボトルを「正面から見た際の印刷範囲の幅」となっております。実際の印刷範囲は、ボトルの印刷可能な曲面を平面に置き換えた幅となります。



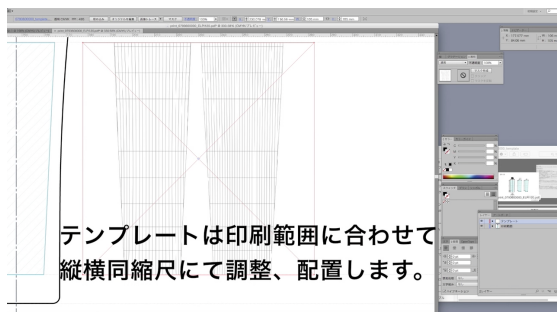
STEP3

3D テンプレートの配置

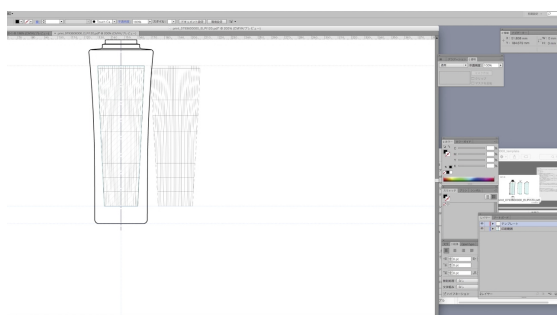
3D ビジュアライザー用のマップデータを作成する為、
下準備を行います。



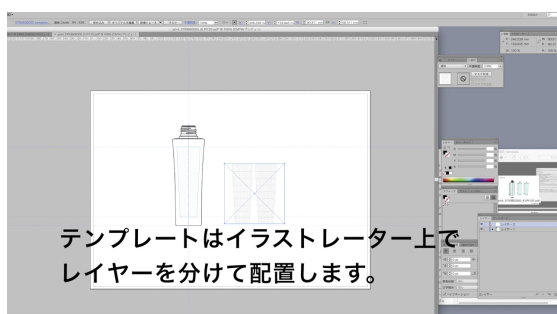
STEP2 で用意したイラストレータデータに
「ファイル」→「配置」でをテンプレートの
PNG ファイルを選択、配置します。



配置したテンプレートのメッシュが
STEP2 の印刷範囲に合うようにテンプレート
を縦横同縮尺にて調整します。(注2)



テンプレートのメッシュの底辺のセンター位置を
印刷範囲の底辺のセンター位置にを合うように
配置します。



配置した「テンプレート」と
STEP2 で用意した「印刷範囲」を
イラストレーター上で、レイヤー分けを行って
おきます。

(注2)

テンプレートを縮小する際に、イラストレーター上で印刷範囲の上下にガイドラインを引き、
テンプレートメッシュの高さを調整。

その時の縮尺率を利用して横幅を縮尺し、「**テンプレートの縦横が必ず同じ寸法**」になるように
してください。(イラストレーターの情報パレット、リンクパレット等で寸法をご確認ください。)

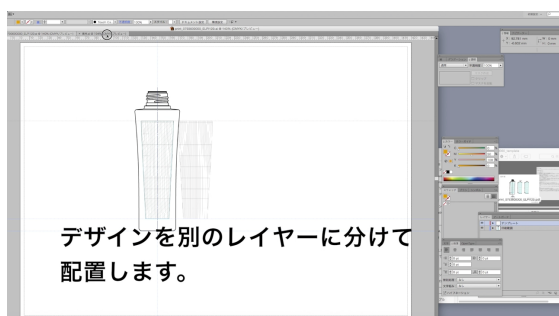
TAKEMOTO 3D VISUALIZER SYSTEM デザインアップロード



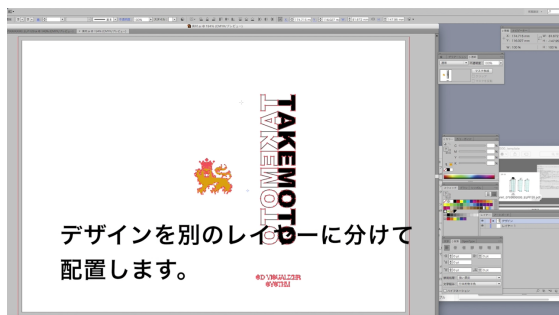
STEP4

デザインの検討と調整

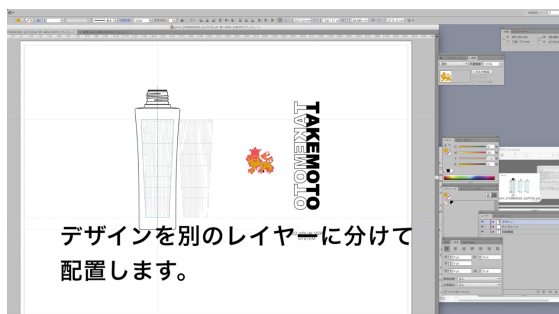
デザインを作成していただくプロセスとなります。



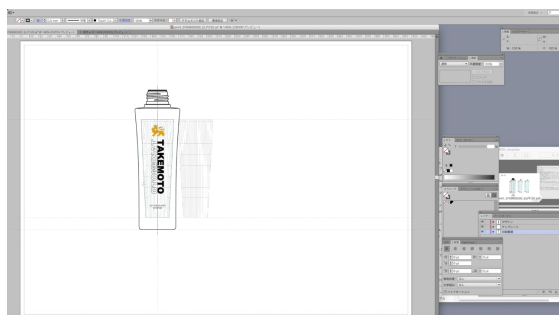
デザインを配置する為のレイヤーを作成します。



デザインの素材ファイルを開き、素材を選択し、
コピーします。



デザインを配置するレイヤーに、デザインを
ペーストします。



デザインをテンプレートのメッシュの内に収まる
ように縮小し、位置の調整を行います。(注3)
調整が終了したら、一旦保存します。

(注3)

デザインは必ずテンプレートのメッシュの内に収めてください。

3D ビジュアライザー上ではメッシュの外に出た部分のデザインは表示されません。

テンプレートに同じサイズのメッシュがある場合は、裏面や側面のデザインを入れる事が出来るようになっております。表面のデザイン同様、必要であればデザインを配置してください。

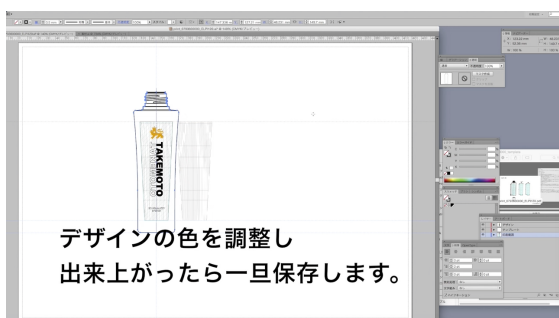
TAKEMOTO 3D VISUALIZER SYSTEM デザインアップロード



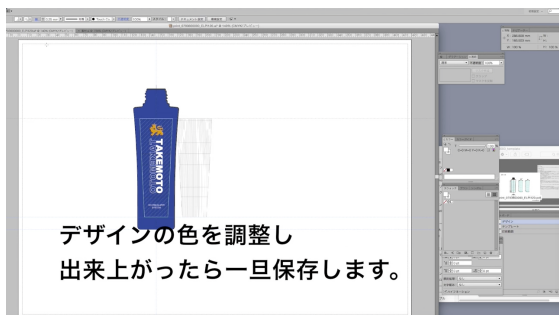
STEP5

デザインの決定

デザインのデータの組み方の説明となります。



デザインの決定する際、ボトルに加飾する色を設定します。(注4)



ファイルのドキュメントカラーモードが「CMYK モード」である事を確認して保存し、次に文字のアウトライ化を行ったデータを別名で名前をつけて保存してください。

(注4)

デザインが白色を含む場合も3D ビジュアライザーでは表現可能です。

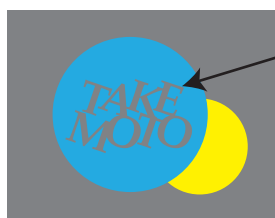
デザイン決定を行う際に印刷範囲のボトル外形に仮の想定色の塗り色を設定する事で、調整作業を容易にする事ができます。

デザインの塗りつぶし無しの部分は3D ビジュアライザーでは表現されませんが、なんらかの色の指定がされている場合は表現に反映される為ご注意願います。(下記、参照願います。)

※ホットスタンプにつきましては対応しておりません。

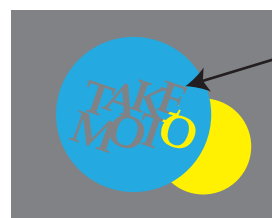


1. 上記のデザインの場合
そのまま表現されます。



2. 印刷色 1 の文字抜きを表現したい場合の
NG ケース

データ上でボトル色にて抜き文字が塗りつぶしされている場合は印刷色 1 の上にボトル色がのった状態で表現されます。抜き文字の下にある円形の印刷色 2 は抜き文字の部分からは見えない状態になります。



3. 印刷色 1 の文字抜きを表現したい場合の
正しいデータの組み方

データ上で印刷色 1 の文字が抜けていれば、文字抜きの部分から、ボトル色や印刷色 2 の色が見える事になります。

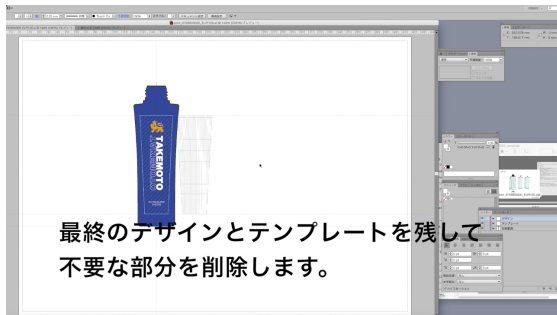
TAKEMOTO 3D VISUALIZER SYSTEM デザインアップロード



STEP6

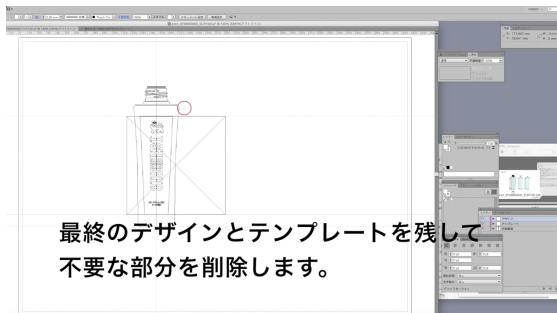
3D用のマップを作成。

決定したデザインを元に3Dビジュアライザー用のマップデータの作成を行います。

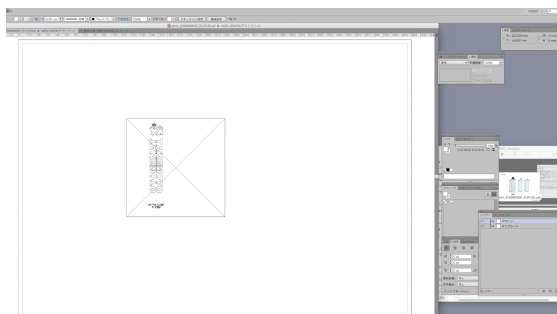


STEP5で作成し、文字をアウトライン化したファイル開きます。

最終決定したデザインと、テンプレートを残して不要な部分を削除します。

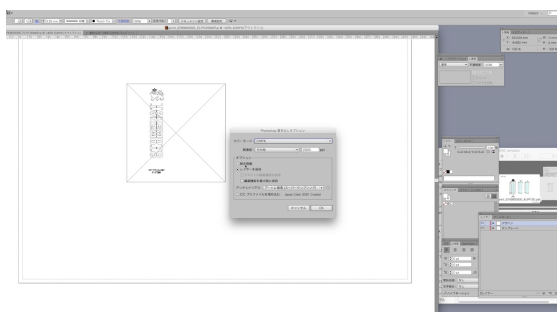


削除する際に、「表示」→「アウトライン」に画面を切り替えると、白文字や塗りのないオブジェクトも表示される為、作業確認が容易になります。

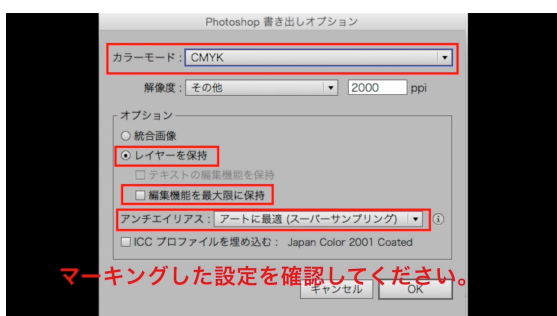


※STEP3で「印刷範囲」「テンプレート」「デザイン」を正しくレイヤーに分けてある事をご確認の上、「印刷範囲」のあるレイヤーを削除してください。

※一旦、別名で名前をつけて保存します。



「ファイル」→「書き出し」にてPhotoshop形式のファイルに書き出します。書き出し時に表示されるダイアログの設定に注意して保存してください。(注5)



(注5)

「ドキュメントのカラーモード」がCMYKカラーの場合は、カラーモードがCMYKでないと「レイヤーを保持」のチェックボックスが選択できません。(RGBカラーの時も同様。)

「編集機能を最大限に保持」のチェックボックスは外してください。

アンチエイリアス「アートに最適(スーパーサンプリング)」が選択されている事を確認して書き出してください。

※解像度はSTEP7で変更しますので、書き出した画像が荒れないように2048pixelよりもう少し大きくなるように設定してください。

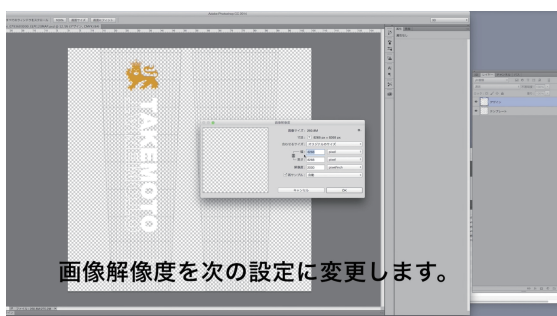
TAKEMOTO 3D VISUALIZER SYSTEM デザインアップロード



STEP7

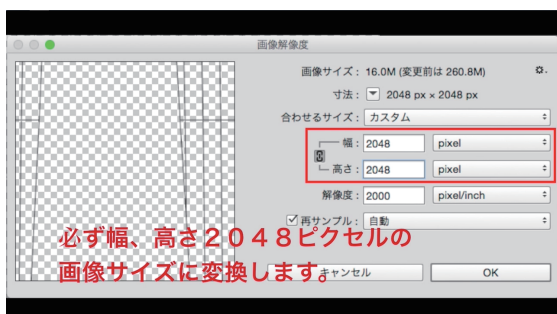
3D用マップの最終調整

マップデータに関しての必要な調整と、注意事項となります。



STEP6 で書き出した Photoshop 形式の
ファイルをフォトショップで開きます。

「デザイン」「テンプレート」のレイヤーが分かれて
いる事をご確認ください。



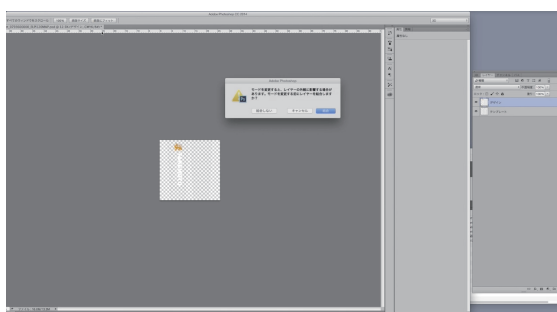
「イメージ」→「画像解像度」にて

画面解像度の幅と高さを2048pixelのサイズに
変換します。



別名で名前をつけて保存してから、

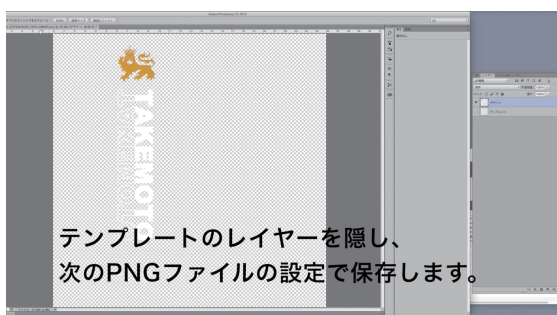
「イメージ」→「モード」→「RGB カラー」を選択して
ください。



ダイアログにて警告が表示されますが

レイヤーを「結合しない」を必ず選択してください。

「テンプレート」のレイヤーをレイヤパレットで
非表示にし、「ファイル」→「別名で保存」にて
PNG ファイル形式で下記オプションを選択して
保存します。



TAKEMOTO 3D VISUALIZER SYSTEM デザインアップロード

3Dビジュアライザー
デザイン (PNGファイル) のアップロード

STEP8

STEP8

デザイン (PNG ファイル) のアップロード
作成したデザインを3D ビジュアライザーに反映させます。

製品検索より3Dビジュアライザーのボタ
ンを押します。

製品ホームページより STEP1 で選択したボトルを
再度選び、3D ビジュアライザーの画面に進みます。

ボトルの色を選択、
付属品を選択します。

ボトルの着色、付属品の選択等の検討を行います。

印刷範囲→アップロード
のボタンを押して作成した
PNGファイルを選択します。

デザインをアップロードするには、
印刷範囲横のアイコンをクリックし、
「アップロード」をクリック。

STEP7 で作成した PNG ファイルを選択します。

※複数のデザインの PNG ファイルをご用意いただきますと、デザイン検証を
容易にする事が可能です。

任意の角度でデザインを確認できます。

画面上のボトルにデザインが反映表示され、
任意の角度から確認できます。

※デザインをアップロード後も、デザインに合わせてボトル・付属品の色、
付属品の変更も可能です。

ログインするとデザインのデータを
メールアドレス宛に送る事ができます。

右下にある「保存」のボタンを押す事で、画面に
表示されているボトルのデザインを保存できます。
メールで送られてきた保存データを使用して
後日デザインの調整を再開する事や、比較画面にて
アップロードし、並べて検討する事ができます。

～これでデザインアップロードのチュートリアルは終了です。～